

見事に咲きました！

4月6日(月)／杉戸町内（大字並塚、大字才羽）



並塚の武井さんは、毎年1,000株以上のチューリップの花を咲かせ、道行く人を楽しませてくれています。

また、才羽の谷部さん宅では、数十年来農道方面の芝桜が数百メートルに渡って見事に咲き誇っています。この時期、きれいな花は、心を和ませてくれますね。
(広報特派員 坂本 吉江)

希望いっぱいの入園式

4月10日(金)／杉戸白百合幼稚園（大字下高野）



開園50周年の杉戸白百合幼稚園入園式が新型コロナウイルス感染予防の対策として、式を短縮し、参加者全員がマスク着用のもと、行われました。

先生達は、手作りの可愛い動物や花柄のマスクを着用し、呼名や職員紹介などをしていました。子ども達や保護者の皆さんの笑顔あふれる式でした。
(広報特派員 渡辺 光子)

桜スポットのご紹介

3月下旬、町内各地で桜が満開でした。桜スポットの一部をご紹介します。

△秘書広報課



大落古利根川沿い（清地一丁目）



舎人団地南側遊歩道（大字杉戸）



西近隣公園（高野台西四丁目）



高野台地区遊歩道（高野台西三丁目）



八幡神社（大字下野）



アグリパーク（大字才羽）



椿地区（大字椿）



鹿島橋（大字佐左エ門）



北蓮沼四ヶ村落（大字北蓮沼）

3月17日(火)／『杉戸町職員フードドライブ』贈呈式

「小さな心づかいが誰かの手助けに」を合言葉に「フードドライブ」を実施



応援隊では、杉戸町社会福祉協議会と協力して、今回寄せられた食料品等を生活困窮世帯等に配布しました。

生活困窮状態にある子ども達を支援したいとの思いから、令和元年5月に設立された「すぎと居場所づくり応援隊」及び杉戸町社会福祉協議会は、日本初のフードバンク団体であるセカンドハーベストジャパンと協力・連携し、町内の生活困窮家庭等への支援を行っています。

そこで、町職員も何か協力できないかと考え、フードドライブ※（町職員版）を募った結果、趣旨に賛同した職員から調味料、缶詰、カップ麺、レトルト食品、お菓子や文房具など、約300点が寄せられました。

これらの食料品等について、3月17日に贈呈式を行い、古谷町長より「すぎと居場所づくり応援隊」寺田竹雄代表に寄付をさせていただきました。

※フードドライブとは、家庭で余っている食料を職場などに持ち寄り、フードバンクや福祉団体などに寄付する活動です。

△福祉課・子育て支援課

3月31日(火)／令和元年度退職者寄贈

窓口業務のサービス向上のために

窓口で活用できるよう、今年3月に退職した役場職員有志3名から、杉戸町に「ポケットAI通訳機」3台が寄贈されました。寄贈いただきまして、誠にありがとうございました。

△秘書広報課



ポケットAI通訳機とは、互いに相手の言葉を話せなくても、まるで通訳がいるように対話できる音声翻訳機です。

4月7日(火)／マスク寄付贈呈式

町の感染症対策のためにマスクを寄付

新型コロナウイルス感染症の発生によるマスクの供給不足を受け、町の感染症対策のために役立ててほしいとのご意向により、町内法人である株式会社クラフワーク様（大字本郷）及び親会社であるトランザクション様（東京都渋谷区）からマスク1万枚の寄付をいただきました。

△健康支援課



写真左：古谷町長 写真右：(株)クラフワーク 石川代表取締役

古谷町長コメント：マスクが手に入りにくい状況が続く中、大変ありがとうございます。有効に活用させていただきます。
石川代表取締役：地域貢献できたことをうれしく思います。今後も地域雇用の創出などに貢献できるよう努力してまいります。

立派なばたんの花

4月8日(水)／大栄団地衣川宅（大字下高野）



樹齢45年のばたんの花が30個のつぼみをつけて、見事に咲き誇りました。毎年綺麗な花を咲かせています。ばたんの花は、周りの道行く人をいつも楽しませてくれています。
(広報特派員 渡辺 光子)

健康な体でウイルスを吹き飛ばせ！

4月2日(木)／大栄団地公園（大字下高野）



毎年4月1日から11月30日までの期間、毎朝6時30分から大栄団地住民の皆さんが公園に集まってラジオ体操を行っています。健康増進のために杉戸の元気印が毎日一生懸命頑張っています。
(広報特派員 渡辺 光子)